

ウラジオストク滞在に関する報告について（4月分）

1. 4月の実施事項について

- 4日 ウラジオストク到着
- 5日 ウラジオストク国立経済サービス大学での授業が開始
- 15日 在ウラジオストク日本国総領事館に挨拶
- 20日 ウラジオストク日本センターに挨拶
- 29日 第27回日本語スピーチコンテストの表彰式に出席

2. 入国時の手続等について

現在は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、ロシアへの渡航直前3日以内に日本国内でPCR検査を受け、英語もしくはロシア語で記載された陰性証明書を所持する必要があります。私がウラジオストクに到着したのは4日の17時頃だったため、2日に富山県内の医療機関でPCR検査を受診しました。料金は施設によりますが、陰性証明書の発行を含めて20,000～30,000円程度になります。

入国審査では事情を詳しく聞かれると思っていましたが、特にそのようなことはなく、あっさりと入国することができました。

到着後3日間は隔離施設で過ごし、隔離中に再度PCR検査を受けて、結果が陰性であったため、晴れて自由に外出できるようになりました。

なお、私は留学ビザでの滞在となるため、対象ではありませんでしたが、労働活動のために入国した外国人は入国後14日間の自己隔離を実施する義務があります。ただし、ビジネス出張者、旅行者等は自己隔離の実施義務はないそうです。

3. ウラジオストク国立経済サービス大学での授業について

2021年度はこれまでの派遣職員が学んでいた極東連邦大学ではなく、ウラジオストク国立経済サービス大学（通称：ブグエス）に通うこととなります。

大学の規模は極東連邦大学よりも小さいものの、敷地内には富山県と沿海地方の友好促進の一環として作られた日本庭園「森本庭園」もあり、関係の深い大学です。

現在、ロシア語の授業は個人授業を除きすべてオンラインで行われており、9月頃から対面授業に移行するという話を聞いています。

1日90分の授業が2～3コマあり、曜日によって授業の時間が変わります。時間割は次の通りです。

月	火	水	木	金
文法	読解	文法	文法	読解
会話	読解	作文	会話	読解
		会話(個人)		会話(個人)

現在、クラスには日本人1名、中国人5名、ベトナム人1名の計7名がいます。

授業内容についてですが、教師がスクリーンに教科書を表示して、それに沿って授業を進行していきます。事前に教科書が配布されるわけではないため、復習には工夫が必要です。「読解」の授業では教科書が事前にデータで送付されます。基本的には全ての授業で、毎回宿題が出されます。文法では練習問題、会話では特定のシチュエーションから会話文を考えてくる、といったような宿題が出されます。



(写真1「森本庭園」 待合せ場所として活用されている姿をよく見かける)

4. ウラジオストク市内の状況について

・治安状況

今月、当地で日本人が犯罪に巻き込まれたという情報はありません。

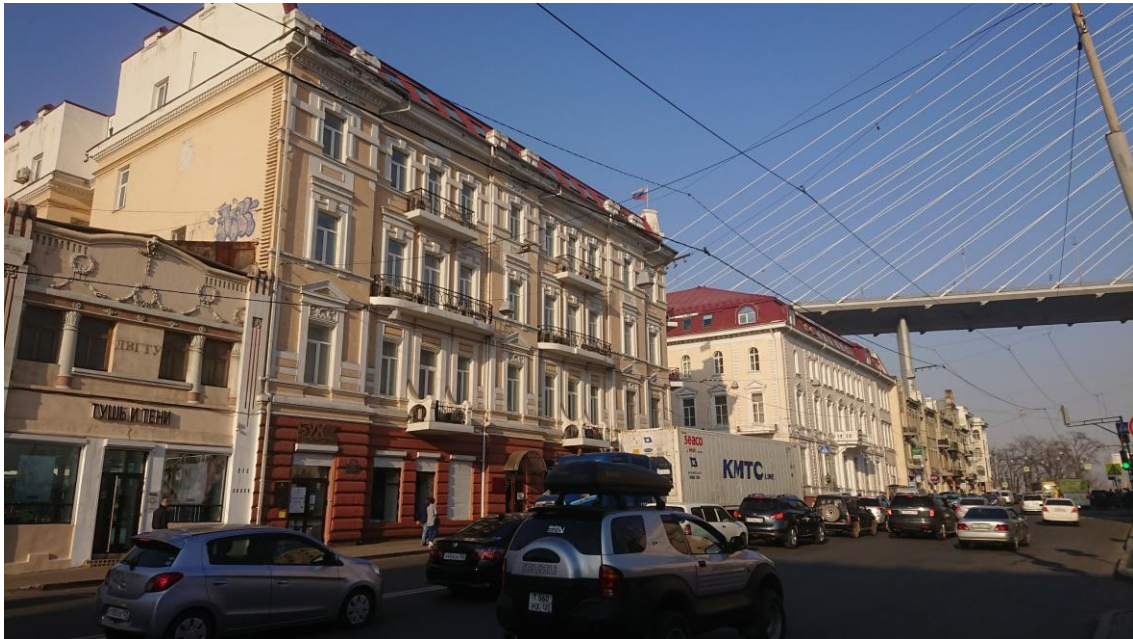
4月21日(水)19時にはロシア全土の主要都市中心部で政府への抗議デモが呼びかけられ、ウラジオストク市中心部でも小規模のデモが実施されたようですが、大きな混乱はなかったようです。開始数時間前に中心部に立ち寄りましたが、多数の警察官や軍人が待機しており、かなりの緊迫感がありました。

・市内の様子

ウラジオストク市のある沿海地方では新型コロナウイルスの感染者数もかなり落ち着いており、飲食店等も通常通り営業しています。マスクの着用率は低く、店内で着用している方を見かける程度です。

(参考) 沿海地方の新型コロナウイルス感染状況 (5月6日)

累計感染者数	43,680人	累計死者数	717人
1日の感染者数	22人	1日の死者数	0人



(写真2 市内にはヨーロッパ風の建築が多く見受けられる)

・気候

晴れている日は15℃前後、そうでない日は7℃前後、18℃を超える暖かい日もありました。海沿いの街であるため風は強く、晴れている日でも、寒さを感じコートが必要とすることが多かったです。また、夕方以降に出歩く際は、ぐっと冷え込むので注意が必要です。

4月は霧と雨の季節と言われ、天気の悪い日は、視界がかなり悪くなることがあります。外と室内でも温度差が激しく、室内はセントラルヒーティングで暖かいため快適ではありますが、乾燥しており、体調管理には注意が必要です。



(写真3 霧に覆われる市内)

・物価

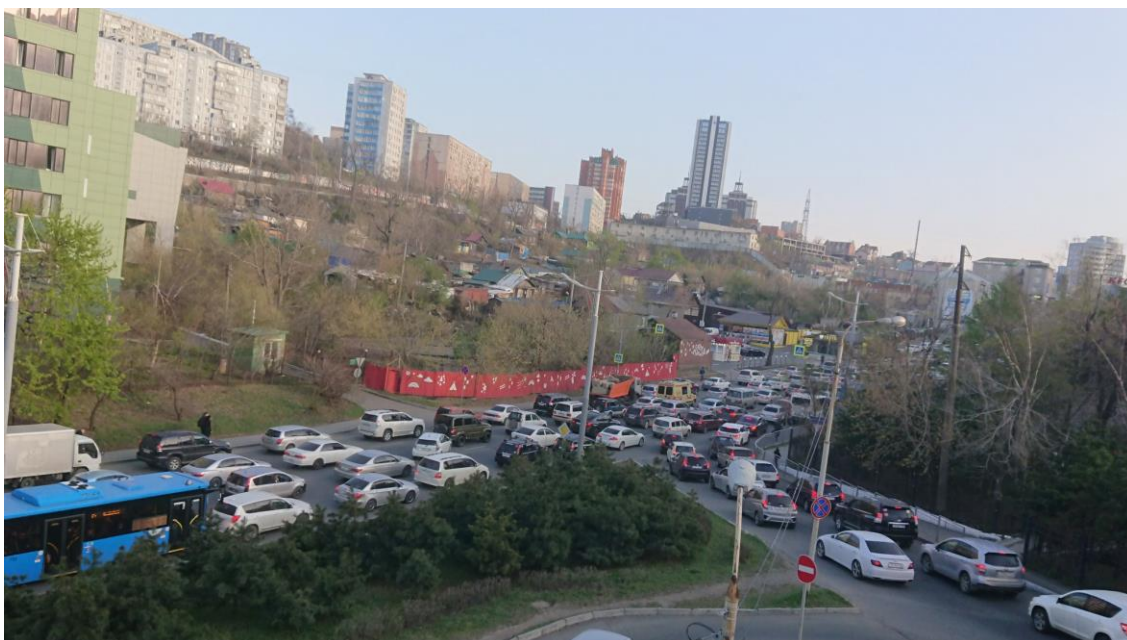
スーパーで食品や生活用品を購入する場合、物価は日本とそれほど変わらないか、少し安いぐらいです。また、ウラジオストク市内のスーパーには日本の食料品や生活用品も売られていますが、それらの価格は日本と比較し約2～3倍です。

・交通状況

到着してすぐにあまりの交通量の多さに驚きました。ウラジオストク市は慢性的な交通渋滞に悩まされているようで、中心地から少し離れた大学周辺でも夕方頃には全く車が動けないほどの渋滞を見かけます。

また、走っている車は日本車がほとんどで、右ハンドルの車が圧倒的に多いにも関わらず、車線は日本と逆になっているのは不思議で、極東地域の特色と言えるかもしれません。日本人の感覚からすると不便そうです。

バスやタクシーで移動する際には、道路の整備状態が悪く、何度も縦揺れが起きます。乗り物に酔ったことがなかった筆者ですが、初めて酔いました。



(写真4 渋滞の様子)